

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表：令和 4年 3月 15日

事業所名 児童発達支援事業所 ともい木

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切である	5	1	0	◆部屋を区切り、グ ループ別に課題を行う こともあります。	
	2	職員の配置数は適切である	3	3	0		◆配置数は適切であるが、未満 児が多い場合など、職員の増員 は必要に感じる。 ◆配置基準は満たしているが、 子どもの年齢や介助度によっ ては、職員数の増員する。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された 環境になっている。また、障害の特性に応じ、事 業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等 への配慮が適切になされている	6	0	0	◆活動の内容に合わ せ、部屋を区切ることや 手作りの衝立・セラピー マットを利用し、どこで 何を行うか伝えています。 ◆設備は、バリアフリー 化されています。 ・障害特性や年齢に合 わせた配慮や教材など を使用し、整えていま す。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境に なっている。また、子ども達の活動に合わせた空 間となっている	6	0	0	◆毎日の清掃や消毒・ 環境整備は、朝夕の清 掃などを行い、日頃か ら心がけています。	◆子供たちの手の届かない所 にある本や様々な用品などが乱雑 になることがあるので、こまめに 片付けておきたい。
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	0		◆業務内容について、職員の声 を聞き取りやすい環境を作ると ともに、臨機応変に対応できる場 面から始めていく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して 事業所の評価を実施するとともに、保護者等の 意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	0	◆保護者の意向に繋がる よう、事業所内相談 や家庭連携を行える環 境を整えています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表 の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うと ともに、その結果による支援の質の評価及び改 善の内容を、事業所の会報やホームページ等で 公開している	4	1	0	◆事業所ホームページ にて公開・施設内に掲 示しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげている	2	3	1		◆第三者による外部評価は未実 施である。 ◆業務内容などについて、臨機 応変に対応の工夫を行い、改善 につなげるようにする。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保している	5	0	0	◆施設内での勉強会と ともに、リモート研修へ の参加を行っていま す。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発 達支援計画を作成している	5	1	0	◆モニタリングなどと ともに、普段の支援から スモールステップを踏 める計画になるよう作 成しています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	0	◆試験的に、太田ステージなどを使用し始めているが、検討していく必要がある。 ◆利用開始時には“KIDS”を使用し、アセスメントを行っています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	2	0		◆「地域支援」は少ないが、必要に応じて設定していく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	1	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	0		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0	◆様々な経験につながるよう、バランスや必要に応じた課題を検討し、月案を立てています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0	0		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	0	◆打合せというきちんとした形ではないが、その日の当番が各担当に伝えるようにしています。 ◆職員間で情報共有を行い、振り返り等を心がけることで、よりよい支援を目指しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	0	◆打合せという形ではないが、気づいたことや困っていることなどを中心に話し合うようにしています。 ◆職員間で情報共有を行い、振り返り等を心がけることで、よりよい支援を目指しています。	◆勤務時間の関係で、終了後の打ち合わせの時間を作ることは難しいが、振り返りの共有をミーティングノートなどを活用を再検討。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	0	◆毎日の支援については、記録を行っています。 ◆職員間で情報共有を行い、振り返り等を心がけることで、よりよい支援を目指しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0	◆相談員からのモニタリング報告書と定期的な面談を行い、見直しを行い、よりよい支援をめざしています。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1	0	◆コロナ禍にあっても十分ではないが、希望に合わせて行っています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				◆該当者なし。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				◆該当者なし。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	0	◆コロナ禍で難しい面もあると思うが、希望に合わせて行ってきます。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	0	◆コロナ禍で難しい面もあると思うが、希望に合わせて行ってきます。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	1	◆コロナ禍にあり充分ではないが、リモートにて研修などを受けています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	0	5		◆コロナ禍ということもあり難しく、現在まで交流はないが、地域交流として機会が今後あれば良いと思っています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	3	1	◆体制が整った際は、参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	0	◆送迎時に、保護者へ伝えられるようにしています。また、健康観察表を活用し、子どもの様子や状況など、伝えあっている。	◆保護者と施設内相談や家庭連携などを利用し、個別にしっかり伝え合えられるよう、保護者の方へ健康観察表の利用を周知していく。
保護者への説	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	1	0	◆ペアレントトレーニングは行っていないが、家族支援は重要視している。 ◆ご家族の希望や支援目標を受け、登所時の時間に親子で取り組めるような対応を支援している。	◆その都度・個別的に支援しているが、プログラムとして取り組めていない。家庭での対応の向上を図れるよう、保護者への密着した関りを心がけていく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	2	0	◆利用開始時に、説明を行っています。また、変更があった際は、変更点をお伝えすることやおたよりを配布しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	0		◆「適切な助言」に関してのノウハウは日々の研鑽を怠らないように心掛けていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	1	5		◆コロナ禍のため、開催はできなかった。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
明責任等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	0	◆毎月「ともい木たより」を発行し、事業所の様子や予定・依頼等発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	0	◆注意して取り扱っています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	◆保護者とは、おたよりの発行や健康観察表の利用を促しています。 ◆子ども達とは、絵や写真のカードを使用することや選択など様々な経験を行い、伝わる伝えられる経験を重ねています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	1	5	◆コロナ禍にあって取り組みていないが、散歩などの時には積極的に挨拶声掛けを行っている。	◆避難訓練など、地域の方に見学に来ていただくことを検討しています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	1	0	◆保護者には、引き渡し訓練などで参加してもらっています。	◆その時々で、おたよりを配布しています。マニュアル(保護者向け)作成・配布も検討していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0	◆様々な非常災害を想定し、避難訓練などを毎月行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	1	0	◆利用開始時・年度初めに、子どもの成育歴や状態などについて調査・確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	0	◆指示書まではないが、家庭からの対応を聞いて行っています。	◆保護者からの情報のみ。指示書に当たる書式の検討していく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	0	◆事例集まではいかないが、共有しています。 ◆朝のミーティング・職員会議にて共有しています。	◆事例が増えた際には事例集の作成も検討していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1	0	◆コロナ禍のため、リモートにて研修に参加しています。 ◆職員間で、声を掛け合い意識をしています。	◆法人にて虐待防止委員会が立ち上がります。研修を受けることや職員間での声掛けや振り返りなど適切な対応を、今後もこころがけていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	3	0	◆重要事項説明書にて、身体拘束についての説明を伝えていますが、また、身体拘束を行わないことが前提なので、支援計画への記載はしていません。	◆法人にて身体拘束適正化委員会が立ち上がります。研修を受けることや職員間での声掛けや振り返りなど適切な対応を、今後もこころがけていきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。